

第22期末(2026年8月31日)	
基準価額	51,859 円
純資産総額	33,482 百万円
第22期	
騰落率	31.6%
分配金(税込)合計	0 円

(注1) 基準価額は1万口当たりで表示しています。
(注2) 純資産総額の単位未満は切り捨て表示しています。
(注3) 騰落率は小数点以下第2位を四捨五入しております。

ありがとうファンド

(愛称:『ファンドの宝石箱』)
追加型投信/内外/資産複合

交付運用報告書

第22期(決算日 2026年8月31日)

作成対象期間: 2025年9月2日~2026年8月31日

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、ありがとう投信株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードすることができます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、右記お問合せ先までお問い合わせください。

【運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法】
右記ホームページにアクセス頂き、「ありがとうファンド」→「運用状況・レポート」→「運用報告書」とお進みください。

●受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、皆様の「ありがとうファンド」は、2026年8月31日に第22期の決算を行いました。第22期も当ファンドは、長期国際分散投資で世界経済及び企業の成長を享受すべく投資先を厳選して運用を行って参りました。

ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。



ありがとう投信
Arigato Asset Management inc.

東京都千代田区内神田 2-15-9 The Kanda 282
ホームページ <https://www.39asset.co.jp>

◆お問合せ先

ありがとう投信株式会社

TEL. 0800-888-3900 (フリーコール)

受付時間: 9:30~17:00 (土日祝日を除く)

お客様へのメッセージ

長谷 俊介（代表取締役社長）



皆さまのありがとうファンドは8月31日に第22期決算を行いました。これもひとえにお客様をはじめ、株主、役職員、投資先関係者、取引先等のステークホルダーの皆さまのご支援の賜物と深く感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

この1年間は、AI・半導体関連ブームに関する期待と懸念が交錯する一方で、米国イラン戦争の影響で原油価格や長期金利が上昇して、マーケットはボラティリティの高い展開になる中、世界の株式市場は大きく上昇した1年でした。そのような中、ありがとうファンドの基準価額は31.6%上昇し、純資産総額は76億5763万円増加して期中に最高値を更新しました。これもひとえに皆さまから継続して託されたご資金と長期投資の運用成果の賜物であると感謝申し上げます。今後も米国トランプ政権の政策や地政学リスクの高まりによってマーケットが影響される価格変動の大きい相場展開が続くと考えられますが、弊社はこれからもお客さまから託されたご資金を長期投資で世界経済及び企業利益の成長の恩恵を享受できるように国際分散投資をするとともに、地政学リスクなどに備えて金（ゴールド）にも分散投資することでダウンサイドリスクを抑えながら安定した運用成果の提供を目指して運用を行って参ります。

真木 喬敏（ファンドマネージャー）



当期の世界株式市場は2026年3月の米国・イスラエルとイランの軍事衝突が始まった際に大きく下落し混乱がみられましたが、その後AI・半導体関連株がけん引するかたちで上昇し、いろいろありながらも上昇する1年になりました。昨年の春はトランプ関税、今年の春はイラン戦争とトランプ政権の動向に右往左往させられる日々が続いています。第二次世界大戦以降築かれてきた米国主導の世界秩序が大きく揺さぶられ、新しい常識・秩序への転換点にいるのでしょうか。2025年の年初からみられるドル離れ、欧州株、新興国株、日本株への資金移動なども転換点のサインなのかもしれません。

このような環境下では不確実性が増すことだけは確実だと考えておりますので、当ファンドでは国際分散投資とゴールド保有のバーベル戦略で乗り越えようと考えております。とはいえ、今後どんな相場展開になるかは誰にもわからないので、不安になる時もあるかと思いますが、『市場に居続ける』ことの重要性だけは忘れずに、長期投資にお付き合いいただけますと幸いです。



優秀ファンド賞
R&I Fund Award 2025

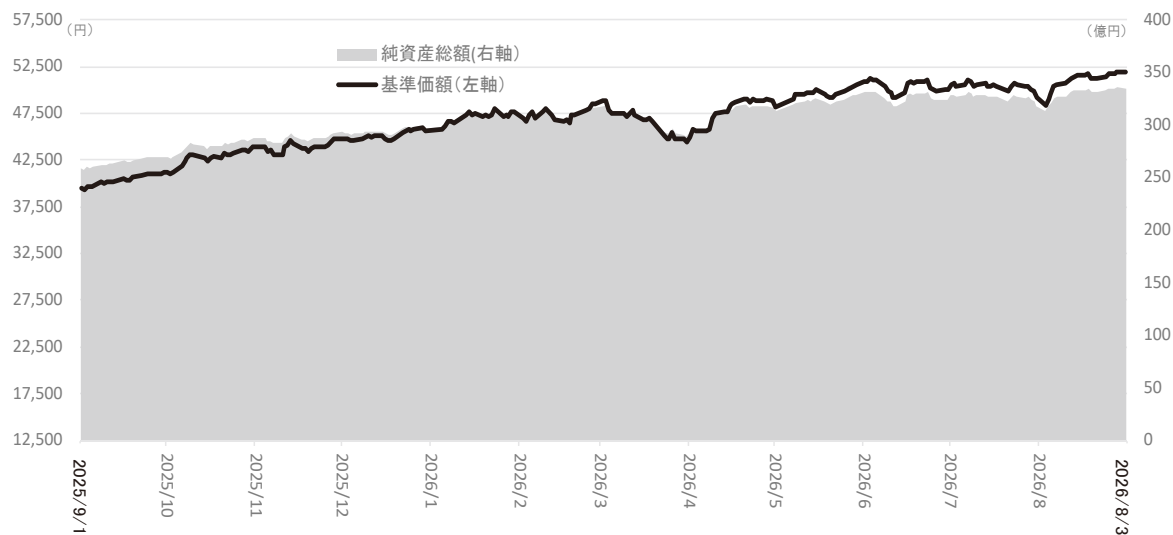
「R&Iファンド大賞 2025」
優秀ファンド賞を受賞しました！

格付投資情報センター（R&I）の選定する「R&I ファンド大賞 2025」において「投資信託 10 年部門外国株式コア」カテゴリで「優秀ファンド賞」を受賞しました。

運用経過の説明

○期中の基準価額等の推移

(2025 年 9 月 2 日～2026 年 8 月 31 日)



期 首	期 末	既払分配金	騰落率
39,418 円	51,859 円	0 円	31.6%

(注1) 当ファンドは、主に国内外の株式等に投資する投資信託証券に分散投資していますが、比較できる適切な指数が存在しないため、ベンチマークを設けておらず、参考指数もありません。

(注2) 分配を行っておりませんので分配金再投資基準価額は表示しておりません。

(注3) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当期は期中に全売却をしたラザード・グローバル・エクイティ・フランチャイズ・ファンド以外全てのファンドが当ファンドの基準価額上昇要因となりました。特に新興国株式担当であるRBCエマージング・マーケット（除く中国）エクイティ・ファンド、ラザード・エマージングマーケット・エクイティ・アドバンテージ・ファンドや金ETFが当ファンドの基準価額上昇に大きく貢献しました。為替については、ドル円、ユーロ円共に期を通しておおむね円安傾向に推移し、当ファンドの基準価額上昇を支えました。

〇1 万口当たりの費用明細

(2025 年 9 月 2 日～2026 年 8 月 31 日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	435 円	0.928%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は 46,886 円です。
(投信会社)	(303)	(0.646)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(95)	(0.202)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(38)	(0.081)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	-	-	(b) 売買委託手数料＝ $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(投資信託受益証券)	(-)	(-)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用	3	0.007	(c) その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(監査費用)	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(2)	(0.004)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・移転等に要する費用及び金銭信託に係る手数料
合計	438	0.935	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

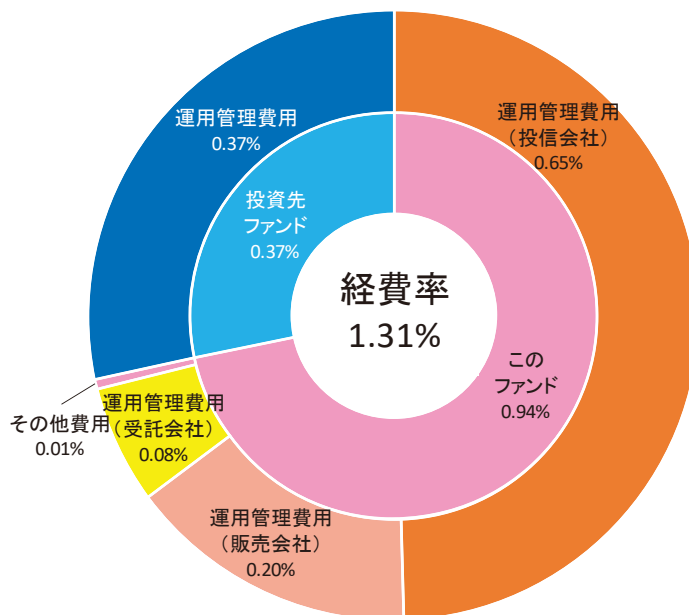
(注2) 各項目の費用は当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注3) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して 100 を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第 4 位を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

(参考情報) 経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く）

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.31%です。



経費率(①+②)	1.31%
①このファンドの費用の比率	0.94%
②投資先ファンドの経費率	0.37%

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) ②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理費率を乗じて算出した概算値です。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。小数点以下第3位を四捨五入して表示しているため、合計が一致しない場合があります。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

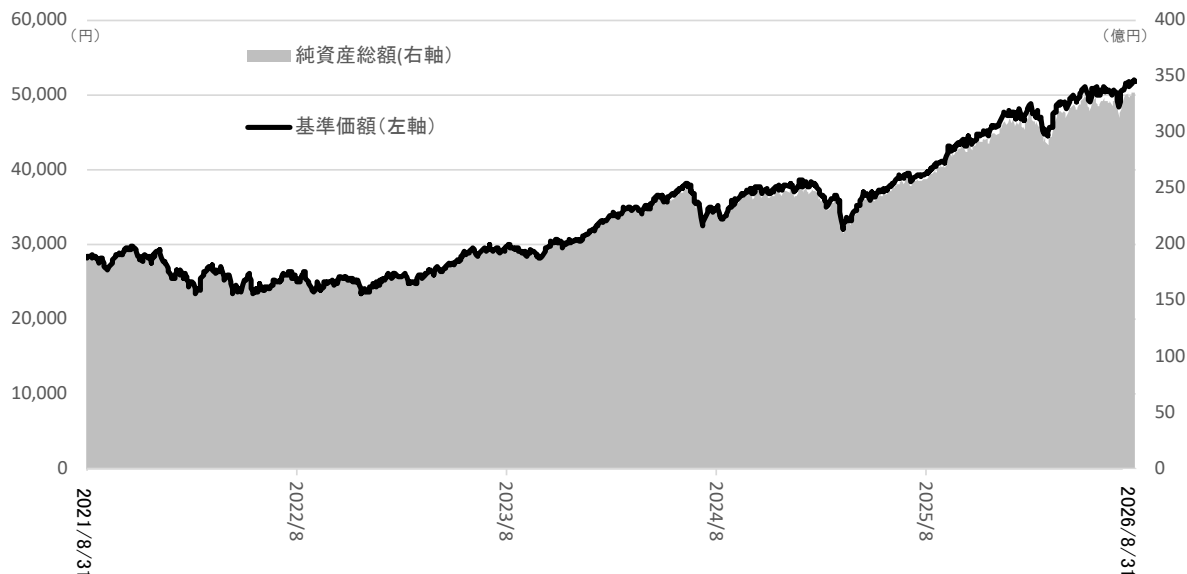
(注) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

○最近5年間の基準価額等の推移

(2021年8月31日～2026年8月31日)



	2021年 8月31日 決算日	2022年 8月31日 決算日	2023年 8月31日 決算日	2024年 9月2日 決算日	2025年 9月1日 決算日	2026年 8月31日 決算日
基準価額 (円)	28,089	25,394	29,732	35,084	39,418	51,859
期間分配金合計(税込) (円)	—	—	—	—	—	—
基準価額の騰落率 (%)	34.0	△9.6	17.1	18.0	12.4	31.6
純資産総額 (百万円)	18,521	17,037	19,918	23,113	25,825	33,482

(注1) 当ファンドの運用方針に適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を併記しておりません。

(注2) 当ファンドは分配金を出しておりませんので、分配金再投資基準価額の騰落率は表示しておりません。

(注3) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

(注4) 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しております。

○投資環境（2025年9月～2026年8月）

当期の世界株式市場は、総じて上昇した1年間になりました。

2025年9月の期初はオラクルがOpenAIとの間でデータセンタ建設に関して3,000億ドル規模の契約を締結したなどを好感し、米国ハイテク関連銘柄を中心に上昇して始まり、米FRBの利下げ決定が世界的に投資家心理を改善させたことも追い風になりました。

10月に入ると、米政府の機関閉鎖への突入や米中対立などリスクは随所で発生するも、OpenAIを中心とした巨大なAI投資ムーブメントを背景に総じて上昇しました。

11月は一転、米大手AI関連企業による巨額の設備投資に対する懸念が広がり株価が調整する局面が見られ、ややボラティリティの高い相場展開になりました。

12月の世界株式市場は、米大手ハイテク企業のAIへの巨額投資に対する収益性懸念などが嫌気され、米国株は上値の重い展開になりました。一方新興国株式市場では、AI向け半導体需要増の期待を背景に韓国株、台湾株を中心に上昇して年末を迎えました。

年が明けて2026年に入ってから、米国によるベネズエラ攻撃やグリーンランドを巡る地政学リスクが意識され、世界の投資家は米国株からアジア株や欧州株へシフトし、米ドル離れも加速したことから米国株の出遅れが目立つようになりました。一方、日本株式市場のパフォーマンスは堅調で、2月8日の衆議院選挙での自民党の獲得議席数は316議席と、戦後最高となったことがポジティブサプライズとなり、大きく上昇しました。

3月に入ると、米国・イスラエルによるイラン攻撃が始まり、投資家のリスク回避の売りが強まり、世界株式市場は総じて大きく下落する相場展開になりました。

4月は一転、中東情勢が懸念されつつも、AI・半導体関連銘柄がけん引する形で大きく反発しました。特に韓国や台湾などの半導体関連株が大きく上昇し、新興国株の上昇をけん引しました。このAI・半導体株の急騰は5月も続きましたが、6月に入るとAI関連株への高値警戒感や資金調達懸念などが相場の重荷になりました。

7月も引き続きAI・半導体関連銘柄に対する疑念が市場を席卷し、値動きが激しい展開になりました。8月に入ると株価はやや戻しましたが、中東情勢や米財政不安を受けた金利高、ジャクソンホール会議でのFRB議長のカラ派発言などが重なり、終盤にかけてやや上値の重い展開になりました。

○当ファンドの運用経過と結果

当期も引き続き株式を中心とした国際分散投資を継続しました。当期の主な投資行動としては、米国株式の投資スタイル分散のため、投資対象に偏りのあるアライアンス・バーンスタイン・アメリカン・グロース・ポートフォリオとアリアンツ・US・ラージ・キャップ・バリューを全売却し、より規律ある投資プロセスを採用しているラザード・ベイライト・USラージ・キャップ・ファンド、JPモルガン・US・リサーチ・エンハンスト・ETF、フェデレーテッド・ハーミーズ・MDT・US・エクイティ・ファンドに新規投資を開始しました。さらに、欧州株式の投資スタイル分散も考慮し、投資対象に偏りのあるアリアンツ・ヨーロッパ・エクイティ・グロース・セレクトとアライアンス・バーンスタイン・ヨーロッパ・グロース・ポートフォリオを全売却し、JPモルガン・ヨーロッパ・リサーチ・エンハンスト・ETFを買い増しました。世界株式や日本株式担当ファンドについても同様の背景から、ラザード・グローバル・エクイティ・フランチャイズ・ファンドとコムジェスト日本株式ファンド（適格機関投資家限定）を全売却し、ラザード・グローバル・エクイティ・アドバンテージ・ファンドを買い増しました。

（参考情報）前期末とのファンド組入比率の比較

ファンド名	21期末 組入比率	当期末 組入比率
JPモルガン・US・リサーチ・エンハンスト・ETF	-	9.5%
SPDRゴールド・ミニシアーズ・トラスト	8.6%	9.2%
JPモルガン・ヨーロッパ・リサーチ・エンハンスト・ETF	0.3%	8.6%
RBCエマージング・マーケッツ(除く中国)エクイティ・ファンド	6.5%	8.5%
フェデレーテッド・ハーミーズ・MDT・US・エクイティ・ファンド	-	8.3%
ラザード・グローバル・エクイティ・アドバンテージ・ファンド	1.2%	8.3%
ISHARES ゴールド・トラスト・マイクロ	7.5%	8.1%
フィッシャー・US・エクイティ・セレクション・ファンド	3.2%	8.0%
ラザード・ベイライト・USラージ・キャップ・ファンド	-	6.5%
ラザード・ジャパニーズ・ストラテジック・エクイティ・ファンド	5.5%	5.4%
JPモルガン・USグロース・ファンド	6.1%	5.4%
ラザード・エマージングマーケッツ・エクイティ・アドバンテージ・ファンド	4.4%	5.4%
JPモルガン・USセレクト・エクイティ	9.3%	5.2%
ブラウン・アドバイザリー・US・サステナブル・バリュー・ファンド	3.1%	3.1%
アライアンス・バーンスタイン・アメリカン・グロース・ポートフォリオ	15.9%	-
アリアンツ・US・ラージ・キャップ・バリュー	10.0%	-
ラザード・グローバル・エクイティ・フランチャイズ・ファンド	7.0%	-
アリアンツ・ヨーロッパ・エクイティ・グロース・セレクト	6.9%	-
アライアンス・バーンスタイン・ヨーロッパ・グロース・ポートフォリオ	3.1%	-
コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)	0.7%	-
組入ファンド数	17	14

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 小数点以下第2位を四捨五入しております。

(注3) ファンドの正式名称は交付目論見書をご参照ください。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。従って、当ファンドとベンチマーク（参考指数）との対比グラフは表示しておりません。

○分配金

基準価額の水準、市況動向等の諸々の状況を勘案し、前期に引き続き分配無しとさせていただきます。なお、分配にあてず信託財産内に留保した利益につきましては、運用方針に基づいて運用いたします。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

第 22 期 (2025 年 9 月 2 日～2026 年 8 月 31 日)	
当期分配金 (対基準価額比率)	— —
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	41,858

(注) 当期の収益および当期の収益以外は、小数点以下を切捨てて表示しているため、合計した額が当期の分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

当ファンドは、リスクを抑えながら資産の長期的な成長を目指す運用を続けてまいります。日本に限らず世界で活躍する成長企業の成長性を享受できるよう引き続き国際分散投資を徹底いたします。また、丹念な企業調査に基づく運用スタイルと規律ある投資哲学を有するファンドを厳選し組み入れること、株式とは異なる資産クラスである金（ゴールド）を組み入れることによりダウンサイドリスクの抑制を目指します。

お知らせ

当期中の約款変更について

当期中に実施した約款変更は以下の通りです。

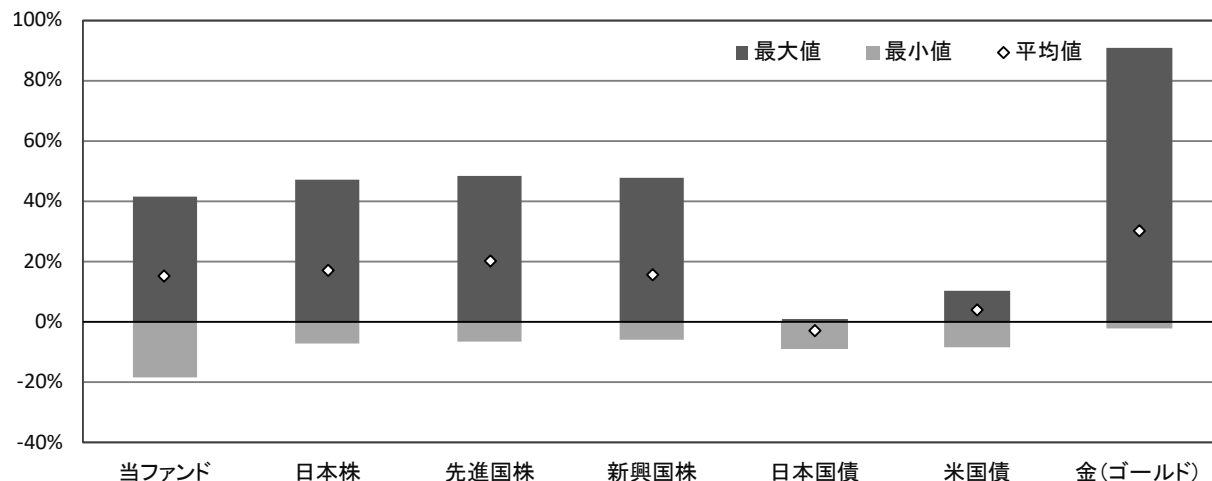
- ① 2025年11月28日 当ファンドが投資を行う投資信託証券の変更（信託約款の附則）
投資対象ファンドの変更に伴い、投資信託約款の附則に所要の変更を行いました。
- ② 2026年4月1日 当ファンドの投資信託約款に記載された「一般社団法人投資信託協会」を、「一般社団法人資産運用業協会」に記載の変更を行いました。
- ③ 2026年5月29日 当ファンドが投資を行う投資信託証券の変更（信託約款の附則）
投資対象ファンドの変更に伴い、投資信託約款の附則に所要の変更を行いました。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／資産複合
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	当ファンドは、投資家の方々の長期的な資産形成のお手伝いをさせていただくことを目的とし、複数のファンドに分散投資を行ない、信託財産の成長を計ることを目標として運用を行ないます。
主 要 運 用 対 象	主として国内外の株式等を投資対象とする投資信託証券を投資対象とします。
運 用 方 法	運用にあたっては、景気変動のサイクルに沿った、アセットアロケーションの切り替えを大前提とします。厳しい基準に基づいて選択されたファンドを活用し、景気サイクルのダイナミズムを先取りする形で、資産配分を行っていきます。運用成果については、特定のベンチマークを設けることはしません。 短期的な市場変動に惑わされることなく、長期的な資産の成長を目指して運用を行います。
分 配 方 針	毎決算時に、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案し決定します。（分配を行わないこともあります。）分配金は税引後自動的に全額再投資されます。

(参考情報) 当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2021年9月末～2026年8月末)



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	米国債	金 (ゴールド)
最大値	41.7%	47.2%	48.3%	47.6%	0.9%	10.5%	90.9%
最小値	-18.3%	-7.1%	-6.2%	-5.6%	-8.6%	-8.5%	-2.0%
平均値	15.2%	17.2%	20.0%	15.8%	-2.9%	3.9%	29.8%

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2021年9月～2026年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

【各資産クラスの指数】

日本株 : FactSet Market Indices Japan (配当込み)

先進国株 : FactSet Market Indices Developed Countries (配当込み)

新興国株 : FactSet Market Indices Emerging Countries (配当込み)

日本国債 : 日本国債 10 年先物価格

米国債 : 米国債 10 年先物価格

金 (ゴールド) : 金先物価格

(注) 海外の指数・価格は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

※上記指数はファクトセットより取得しています。

※代表的な資産クラスの騰落率はファクトセットのデータベースをもとに、ありがとう投信株式会社が計算しています。

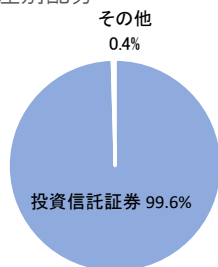
当ファンドのデータ

○当ファンドの組入資産の内容

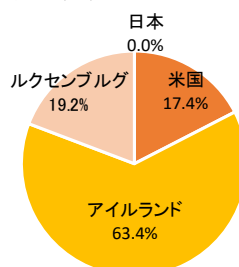
(2026 年 8 月 31 日現在)

組入ファンド	組入比率
JPモルガン・US・リサーチ・エンハンスド・ETF	9.5%
SPDRゴールド・ミニシェアーズ・トラスト	9.2%
JPモルガン・ヨーロッパ・リサーチ・エンハンスド・ETF	8.6%
RBCエマージング・マーケット（除く中国）エクイティ・ファンド	8.5%
フェデレーテッド・ハーミーズ・MDT・US・エクイティ・ファンド	8.3%
ラザード・グローバル・エクイティ・アドバンテージ・ファンド	8.3%
シェアーズ ゴールド・トラスト・マイクロ	8.1%
フィッシャー・US・エクイティ・セレクション・ファンド	8.0%
ラザード・ベイライト・USラージ・キャップ・ファンド	6.5%
ラザード・ジャパニーズ・ストラテジック・エクイティ・ファンド	5.4%
JPモルガン・USグロース・ファンド	5.4%
ラザード・エマージングマーケット・エクイティ・アドバンテージ・ファンド	5.4%
JPモルガン・USセレクト・エクイティ	5.2%
ブラウン・アドバイザリー・US・サステナブル・バリュー・ファンド	3.1%
その他（短期金融資産等）	0.4%
組入ファンド数	14銘柄

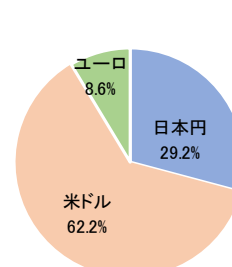
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 各組入ファンドに関する詳細な情報につきましては運用報告書（全体版）に記載されております。

(注3) 小数点以下第2位を四捨五入しております。

(注4) ファンドの正式名称は交付目論見書をご参照ください。

(注5) 国別配分は、組入資産の発行国を表示しています。

○純資産等

項 目	第 22 期末
	2026 年 8 月 31 日
純 資 産 総 額	33,482,735,097 円
受 益 権 総 口 数	6,456,534,149 口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額	51,859 円

(注) 期中における追加設定元本額は 271,086,049 円、同解約元本額は 366,198,875 円です。

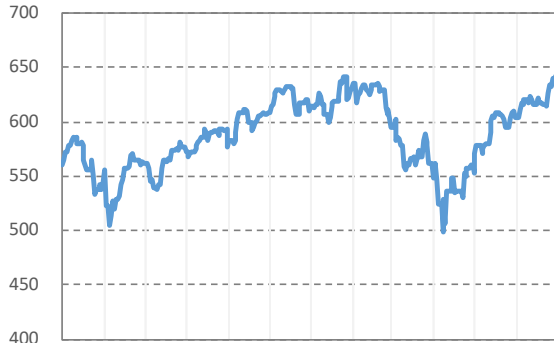
○組入ファンドの概要

以下は当ファンドが投資対象としているファンドの現況です。詳細な内容については運用報告書（全体版）に記載しております。なお、以下の各項目の注記につきましては、25 頁をご参照ください。

JP モルガン・US グロース・ファンド

◆基準価額の推移

(米ドル)



(2024/7/1)

(2025/6/30)

◆組入上位 10 銘柄

(2025 年 6 月 30 日現在)

	銘柄名	投資比率(%)
1	Nvidia	9.9%
2	Microsoft	9.7%
3	Meta Platforms	6.6%
4	Amazon.com	4.8%
5	Apple	4.8%
6	Broadcom	4.4%
7	Netflix	3.9%
8	Alphabet	3.3%
9	Mastercard	3.2%
10	Tesla	3.1%
組入銘柄数		69

◆1 万口当たりの費用明細

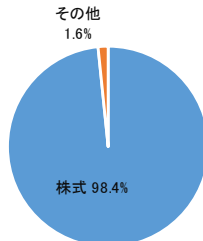
単位当たり費用明細については、掲示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

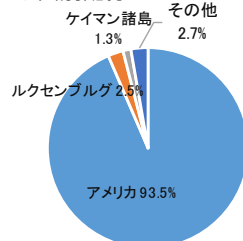
◆費用明細

販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.60%

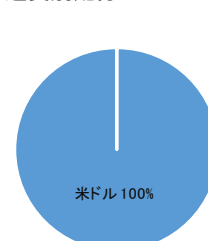
◆資産別配分



◆国別配分



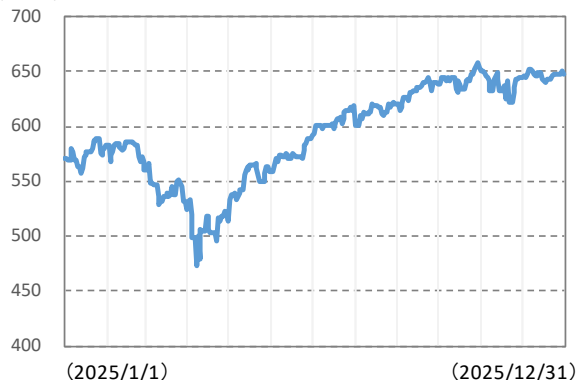
◆通貨別配分



JP モルガン・US セレクト・エクイティ

◆基準価額の推移

(米ドル)



◆1万口当たりの費用明細

単位当たり費用明細については、掲示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

◆費用明細

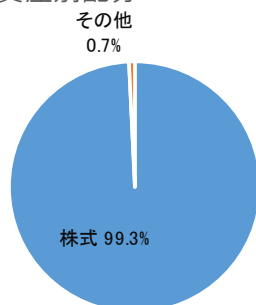
販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.50%

◆組入上位 10 銘柄

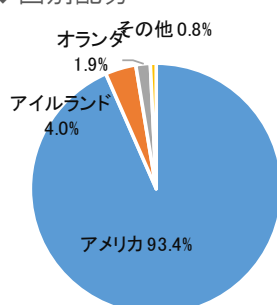
(2025 年 12 月 31 日現在)

	銘柄名	投資比率(%)
1	Nvidia	8.6%
2	Microsoft	7.6%
3	Apple	7.6%
4	Alphabet	4.9%
5	Amazon.com	4.4%
6	Meta Platforms	3.4%
7	Broadcom	3.3%
8	Wells Fargo	3.1%
9	Mastercard	2.7%
10	American Express	2.5%
組入銘柄数		52

◆資産別配分



◆国別配分



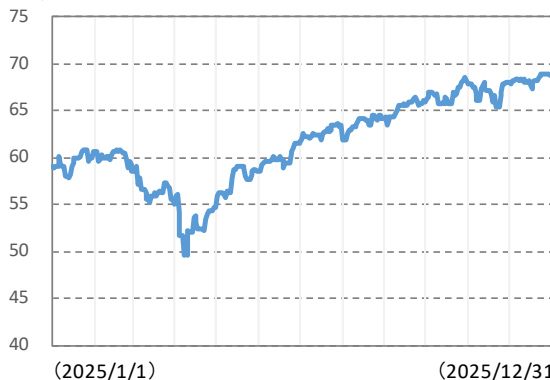
◆通貨別配分



JP モルガン・US・リサーチ・エンハンスド・ETF

◆基準価額の推移

(米ドル)



◆1万口当たりの費用明細

単位当たり費用明細については、掲示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

◆費用明細

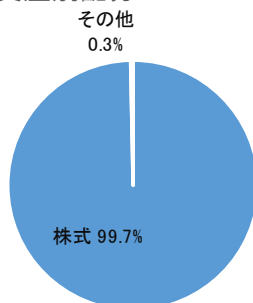
販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.20%

◆組入上位10銘柄

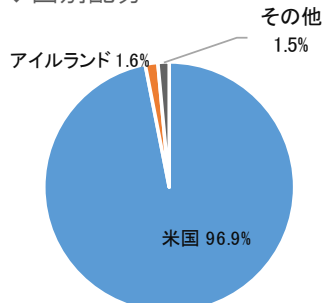
(2025年12月31日現在)

	銘柄名	投資比率(%)
1	Nvidia	8.1%
2	Apple	7.0%
3	Microsoft	6.6%
4	Alphabet	5.4%
5	Amazon.com	4.0%
6	Broadcom	2.8%
7	Meta Platforms	2.7%
8	Tesla	2.0%
9	Berkshire Hathaway	1.6%
10	Visa	1.4%
組入銘柄数		237

◆資産別配分



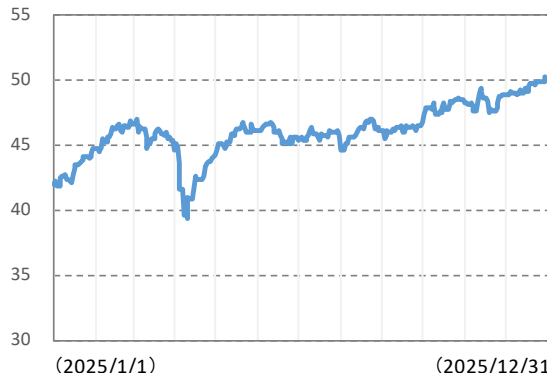
◆国別配分



JP モルガン・ヨーロッパ・リサーチ・エンハンスド・ETF

◆基準価額の推移

(ユーロ)



◆1 万口当たりの費用明細

単位当たり費用明細については、掲示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

◆費用明細

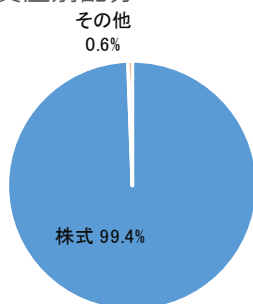
販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.25%

◆組入上位 10 銘柄

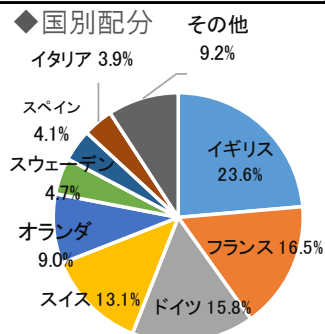
(2025 年 12 月 31 日現在)

	銘柄名	投資比率(%)
1	ASML	3.7%
2	AstraZeneca	2.8%
3	Siemens	2.3%
4	Shell	2.3%
5	Nestle	2.1%
6	Allianz	2.1%
7	HSBC Holdings	2.1%
8	Roche Holding	2.0%
9	Novartis	1.8%
10	Banco Santander	1.8%
組入銘柄数		144

◆資産別配分



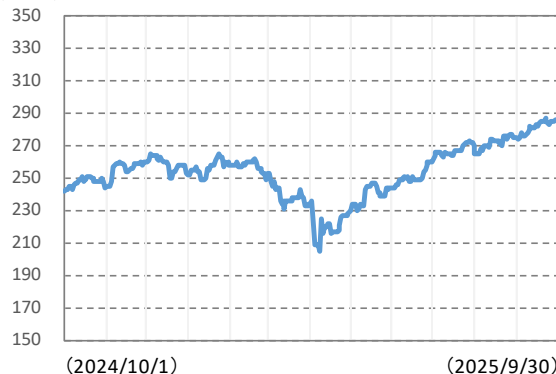
◆国別配分



フィッシャー・US・エクイティ・セレクション・ファンド

◆基準価額の推移

(米ドル)



◆1万口当たりの費用明細

単位当たり費用明細については、掲示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

◆費用明細

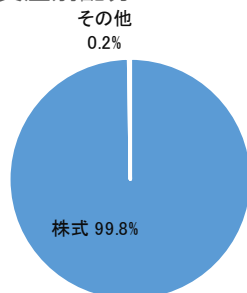
販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.65%

◆組入上位10銘柄

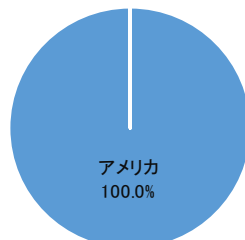
(2025年9月30日現在)

	銘柄名	投資比率(%)
1	NVIDIA	7.7%
2	Microsoft	6.5%
3	Apple	6.4%
4	Alphabet	4.2%
5	Amazon	3.5%
6	JP Morgan Chase	2.9%
7	Goldman Sachs	2.7%
8	Home Depot	2.5%
9	American Express	2.3%
10	Citigroup	2.0%
組入銘柄数		63

◆資産別配分



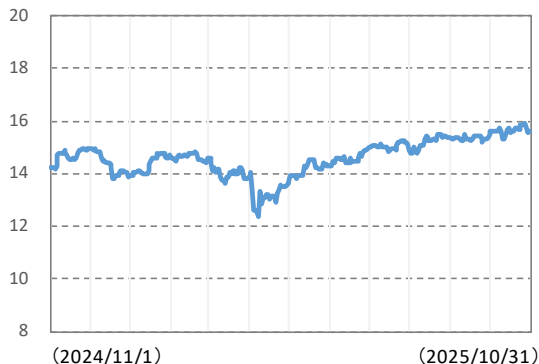
◆国別配分



ブラウン・アドバイザー・US・サステナブル・バリュー・ファンド

◆基準価額の推移

(米ドル)



◆1万口当たりの費用明細

単位当たり費用明細については、掲示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

◆費用明細

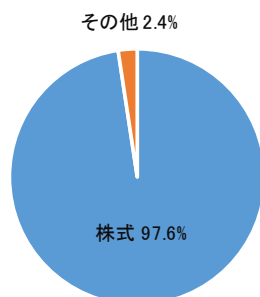
販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.25%

◆組入上位10銘柄

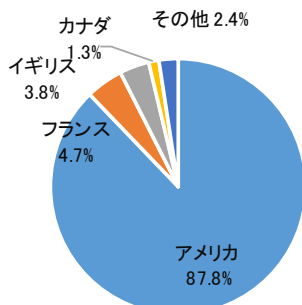
(2025年10月31日現在)

	銘柄名	投資比率(%)
1	CRH public limited company	5.5%
2	Cardinal Health, Inc.	4.7%
3	Sanofi SA Sponsored ADR	4.7%
4	Bank of America Corp	4.0%
5	Unilever PLC Sponsored ADR	3.8%
6	Ferguson Enterprises Inc.	3.7%
7	Constellation Energy Corporation	3.7%
8	Willis Towers Watson Public Limited Company	3.6%
9	Dell Technologies, Inc. Class C	3.6%
10	American International Group, Inc.	3.6%
組入銘柄数		39

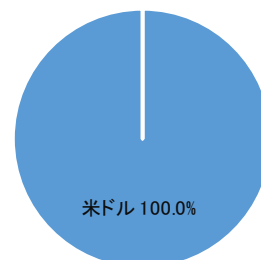
◆資産別配分



◆国別配分

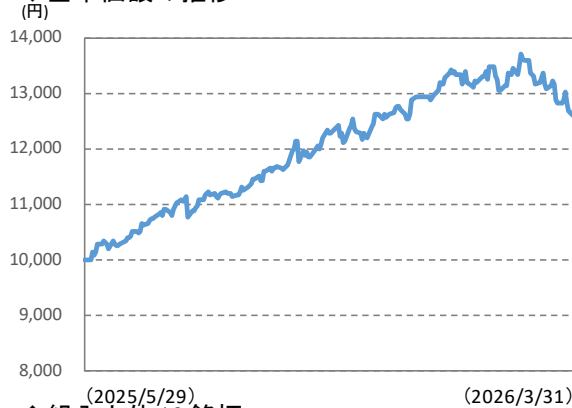


◆通貨別配分



ラザード・グローバル・エクイティ・アドバンテージ・ファンド

◆基準価額の推移

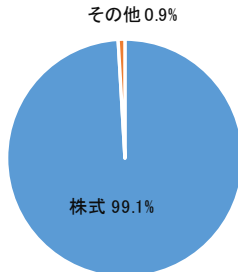


◆組入上位10銘柄

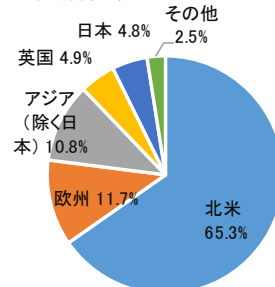
(2026年3月31日現在)

	銘柄名	国/地域	投資比率(%)
1	NVIDIA CORP	米国	4.9%
2	APPLE INC	米国	4.1%
3	ALPHABET INC-CL C	米国	3.9%
4	AMAZON.COM INC	米国	3.9%
5	MICROSOFT CORP	米国	2.8%
6	TSMC	台湾	2.4%
7	PEPSICO INC	米国	1.8%
8	BANK OF NEW YORK MELLON CORP	米国	1.7%
9	BROADCOM INC	米国	1.7%
10	AMERIPRISE FINANCIAL INC	米国	1.7%
組入銘柄数			190

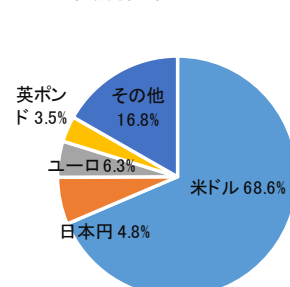
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



◆1万口当たりの費用明細

単位当たり費用明細については、掲示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

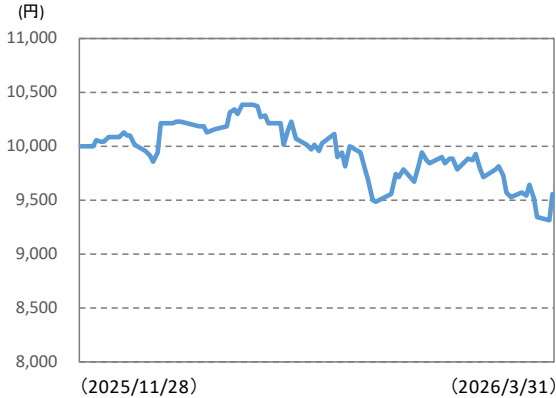
◆費用明細

販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.23%

当該ファンドは運用管理会社の計算期間中に設定されており、基準価額の推移はファンドクラス設定日からの推移を示しています

ラザード・ベイライト・US ラージ・キャップ・ファンド

◆基準価額の推移



◆1 万口当たりの費用明細

単位当たり費用明細については、掲示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

◆費用明細

販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.15%

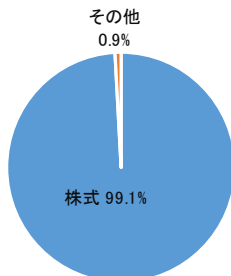
当該ファンドは運用管理会社の計算期間中に設定されており、基準価額の推移はファンドクラス設定日からの推移を示しています

◆組入上位 10 銘柄

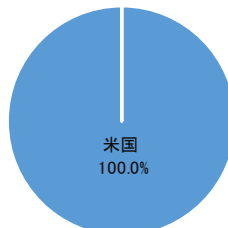
(2026 年 3 月 31 日現在)

	銘柄名	国/地域	投資比率(%)
1	NVIDIA CORP	米国	9.0%
2	APPLE INC	米国	8.6%
3	MICROSOFT CORP	米国	5.9%
4	AMAZON.COM INC	米国	5.0%
5	META PLATFORMS INC-CLASS A	米国	4.0%
6	ALPHABET INC-CL A	米国	3.0%
7	BROADCOM INC	米国	2.7%
8	LAM RESEARCH CORP	米国	2.6%
9	ELI LILLY & CO	米国	2.2%
10	INCYTE CORP	米国	2.1%
組入銘柄数			54

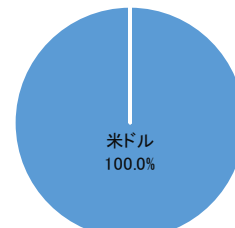
◆資産別配分



◆国別配分



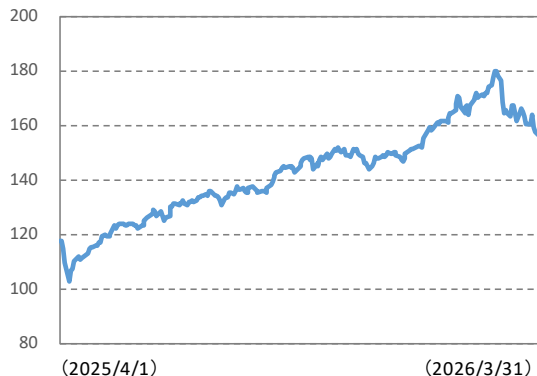
◆通貨別配分



ラザード・エマージングマーケット・エクイティ・アドバンテージ・ファンド

◆基準価額の推移

(米ドル)



◆1 万口当たりの費用明細

単位当たり費用明細については、掲示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

◆費用明細

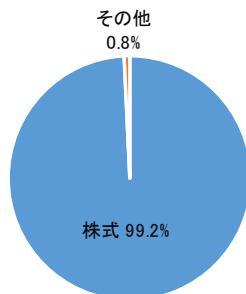
販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.60%

◆組入上位10銘柄

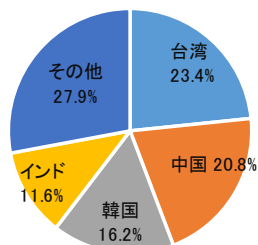
(2026年3月31日現在)

	銘柄名	国/地域	投資比率(%)
1	TSMC	台湾	9.8%
2	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国	5.6%
3	TENCENT HOLDINGS LTD	中国	3.4%
4	SK HYNIX	韓国	3.3%
5	ALIBABA GROUP HOLDING LTD	中国	2.3%
6	DELTA ELECTRONICS INC	台湾	2.2%
7	MEDIATEK INC	台湾	1.7%
8	PING AN INSURANCE GROUP CO-H	中国	1.7%
9	PETROBRAS	ブラジル	1.6%
10	CHINA CONSTRUCTION BANK H	中国	1.4%
組入銘柄数			235

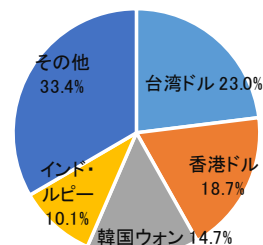
◆資産別配分



◆国別配分

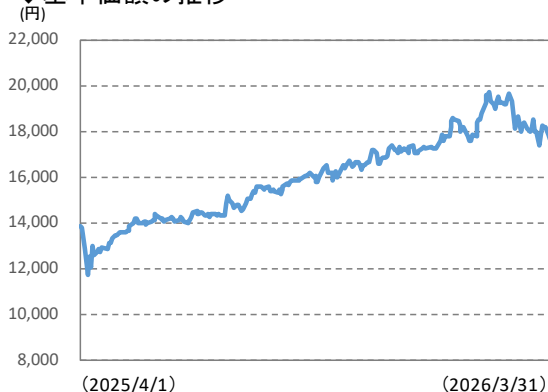


◆通貨別配分



ラザード・ジャパニーズ・ストラテジック・エクイティ・ファンド

◆基準価額の推移



◆1万口当たりの費用明細

単位当たり費用明細については、掲示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

◆費用明細

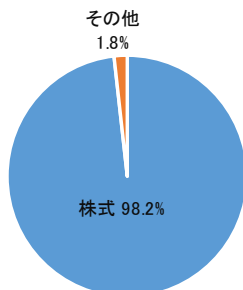
販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.50%

◆組入上位10銘柄

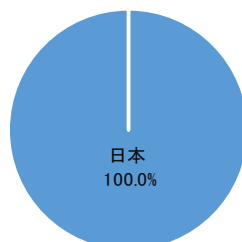
(2026年3月31日現在)

	銘柄名	国/地域	投資比率(%)
1	三菱UFJフィナンシャル・グループ	日本	4.9%
2	三井住友フィナンシャルグループ	日本	4.7%
3	みずほフィナンシャルグループ	日本	4.1%
4	東京海上ホールディングス	日本	4.0%
5	INPEX	日本	3.8%
6	三井不動産	日本	3.7%
7	コマツ	日本	3.6%
8	信越化学	日本	3.5%
9	武田薬品工業	日本	3.4%
10	リクルート	日本	3.4%
組入銘柄数			34

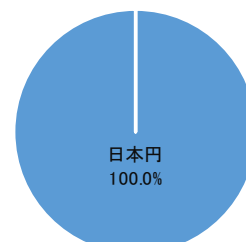
◆資産別配分



◆国別配分

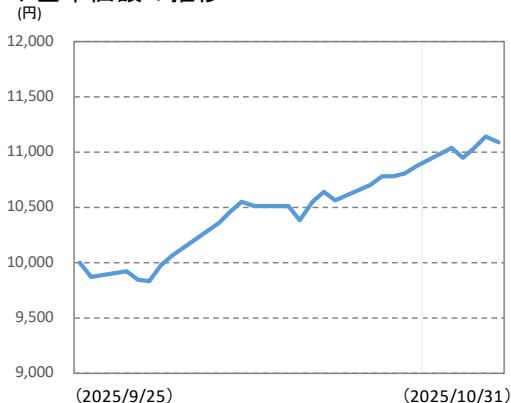


◆通貨別配分



RBC エマージング・マーケット（除く中国）エクイティ・ファンド

◆基準価額の推移



◆1 万口当たりの費用明細

単位当たり費用明細については、掲示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

◆費用明細

販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.45%

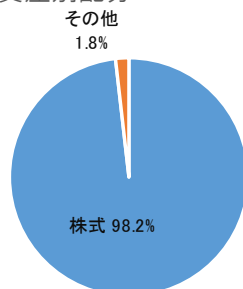
当該ファンドは運用管理会社の計算期間中に設定されており、基準価額の推移はファンドクラス設定日からの推移を示しています

◆組入上位 10 銘柄

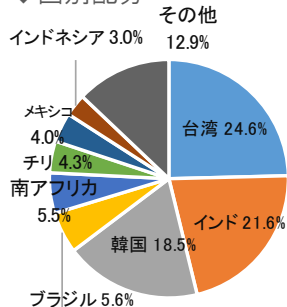
(2025 年 10 月 31 日現在)

	銘柄名	投資比率(%)
1	TSMC	9.6%
2	Samsung Electronics	6.7%
3	HDFC Bank	5.4%
4	SK Hynix	4.9%
5	Antofagasta	4.3%
6	Mahindra & Mahindra	3.8%
7	Delta Electronics	3.8%
8	Chroma ATE	3.8%
9	Tata Consultancy Services	2.6%
10	Samsung Fire & Marine Insurance	2.6%
組入銘柄数		47

◆資産別配分



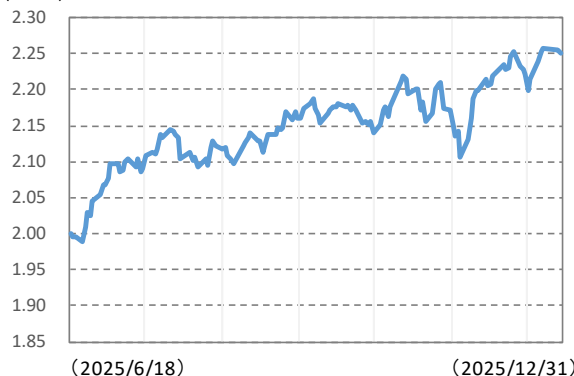
◆国別配分



フェデレーテッド・ハーミーズ・MDT・US・エクイティ・ファンド

◆基準価額の推移

(米ドル)



◆1万口当たりの費用明細

単位当たり費用明細については、掲示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

◆費用明細

販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.55%

当該ファンドは運用管理会社の計算期間中に設定されており、基準価額の推移はファンドクラス設定日からの推移を示しています

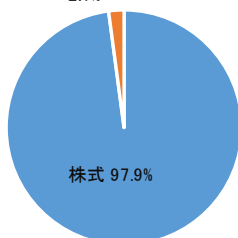
◆組入上位10銘柄

(2025年12月31日現在)

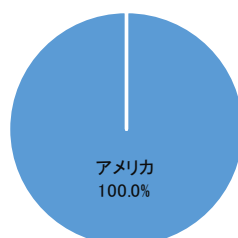
	銘柄名	投資比率(%)
1	Microsoft Corporation	6.8%
2	Apple Inc.	6.2%
3	Alphabet Inc.	5.8%
4	NVIDIA Corporation	4.9%
5	Amazon.com, Inc.	2.5%
6	Meta Platforms, Inc.	2.2%
7	AbbVie Inc.	2.2%
8	Broadcom Inc.	2.0%
9	Fiserv, Inc.	1.9%
10	Adobe Inc.	1.9%
組入銘柄数		175

◆資産別配分

その他
2.1%



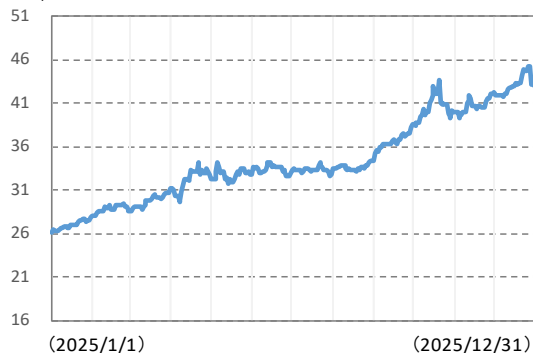
◆国別配分



i シェアーズ ゴールド・トラスト・マイクロ

◆基準価額の推移

(米ドル)



◆1万口当たりの費用明細

単位当たり費用明細については、掲示されていないため記載しておりません。

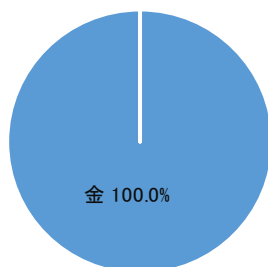
(ご参考)

◆費用明細

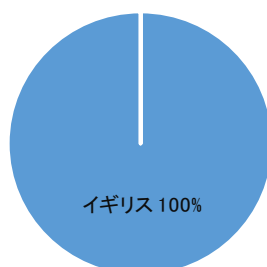
販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.07%

(2027年6月30日までの期間。それ以降は、年0.09%)

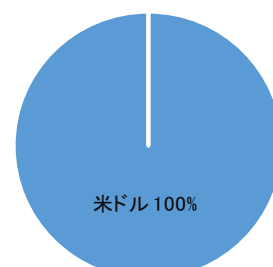
◆資産別配分



◆国別配分



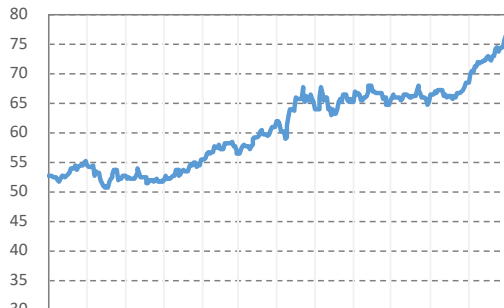
◆通貨別配分



SPDR ゴールド・ミニシェアーズ・トラスト

◆基準価額の推移

(米ドル)



(2024/10/1)

(2025/9/30)

◆1万口当たりの費用明細

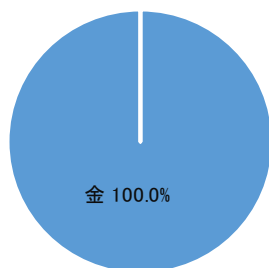
単位当たり費用明細については、掲示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

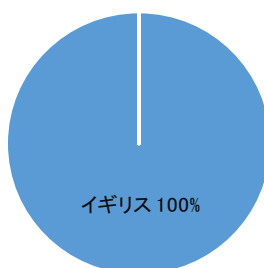
◆費用明細

販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.10%

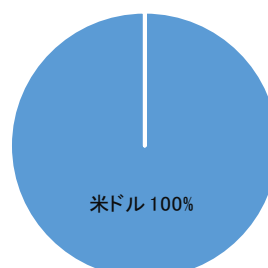
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



【組入ファンドの概要項目についての注記】

- ・作成時点において、入手可能な各ファンドの直前計算期間の年次報告書をもとに作成しております。
- ・特に指定がない場合、投資比率はファンドの純資産総額に対する当該資産の評価金額の比率です。
- ・単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

直接販売状況

2026年8月31日決算日現在 有効口座数（※）4,899 口座 ※決算日現在残高のないお客様も含みます。

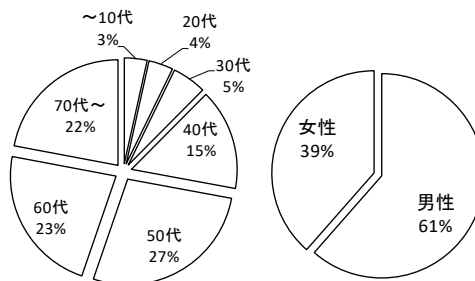
当期末現在で口座数が4,899 口座（内法人33 口座）となりました。一人当たりの平均保有残高は6,834 千円です。当期間の新規口座開設件数は78 口座でした。家族・知人の紹介を口座開設のきっかけとされる方が約半数を占めております。一方、口座閉鎖数は94 口座となりました。

◆お客様の特徵

年代別では、50 代のお客様が27%と最も多く、40 代から60 代のお客様が全体の約7割となっております。

◆ファンド設定・解約の状況

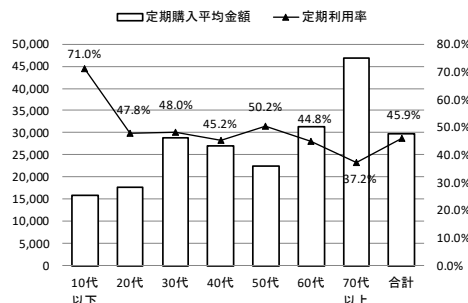
第22 期においては、設定金額が1,264 百万円、解約金額が1,716 百万円となり、金額ベースで452 百万円の純流出となりました。主な要因としては、基準価額が上昇し最高値圏で推移したことによる利益確定の換金が増えたことが上げられます。また、ありがとうファンドの純資産額は、期中平均305 億円となりました。



◆定期積立サービス

当サービスをご利用されているお客様の割合は45.9%（分母：有効口座数）。一人当たりの定期購入金額平均は29,709 円でした。

長期・国際分散・積立投資は資産形成の王道であります。少額から積立投資を継続することで時間分散によってリスクを抑えながら資産形成ができるので、特にこれから将来に備えていく現役世代の方にご利用をおすすめしております。



◆運用状況を随時お伝えしております。

毎月上旬発行の月次レポートやありがとうブログ等で運用状況や資産運用に役に立つ情報発信しております。また、セミナーや運用報告会、無料個別相談を随時実施しております。今後も引き続きお客様に寄り添って資産運用を入口から出口まで一生涯サポートさせていただきます。

<R&I ファンド大賞について>

「R&I ファンド大賞」は、R&I が信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につきR&I が保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&I に帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。